

令和3年度 当初予算

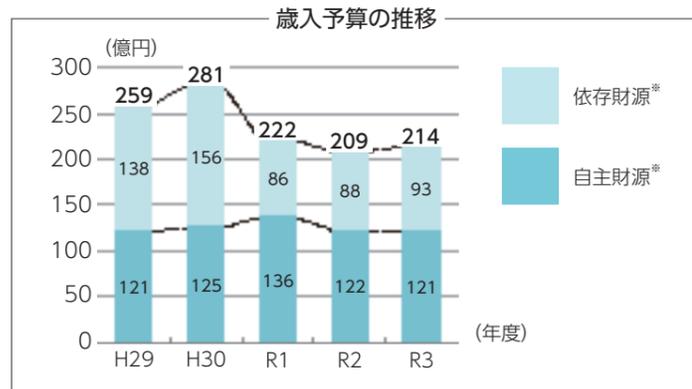
令和3年度一般会計当初予算の総額は214億円です。投資的経費を抑え、国からの防災対策や地方創生、外部人材など、さまざまな補助事業を有効に活用し、健全財政を維持し、市民の安心と将来に希望の持てる予算としました。

当初予算は1年間(一会計年度)に入ってくる収入を適切に見積ったうえで、行政上必要な支出の金額をバランスよく計画することが大切です。詳細情報はホームページで確認してください。



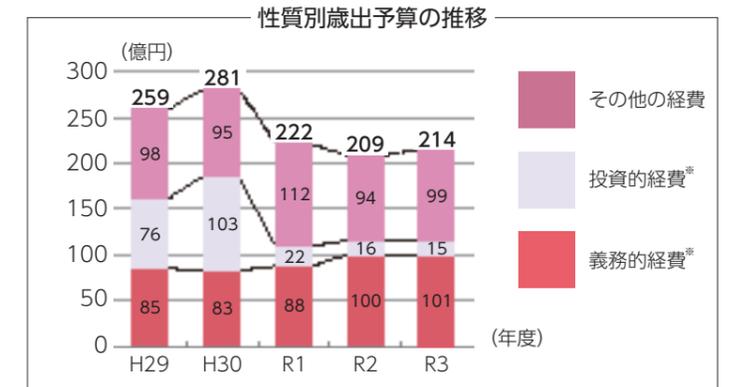
※金額は表示単位未満四捨五入のため合計が合わない場合があります。
 財政課 ☎ 86-7742

歳入 214億円

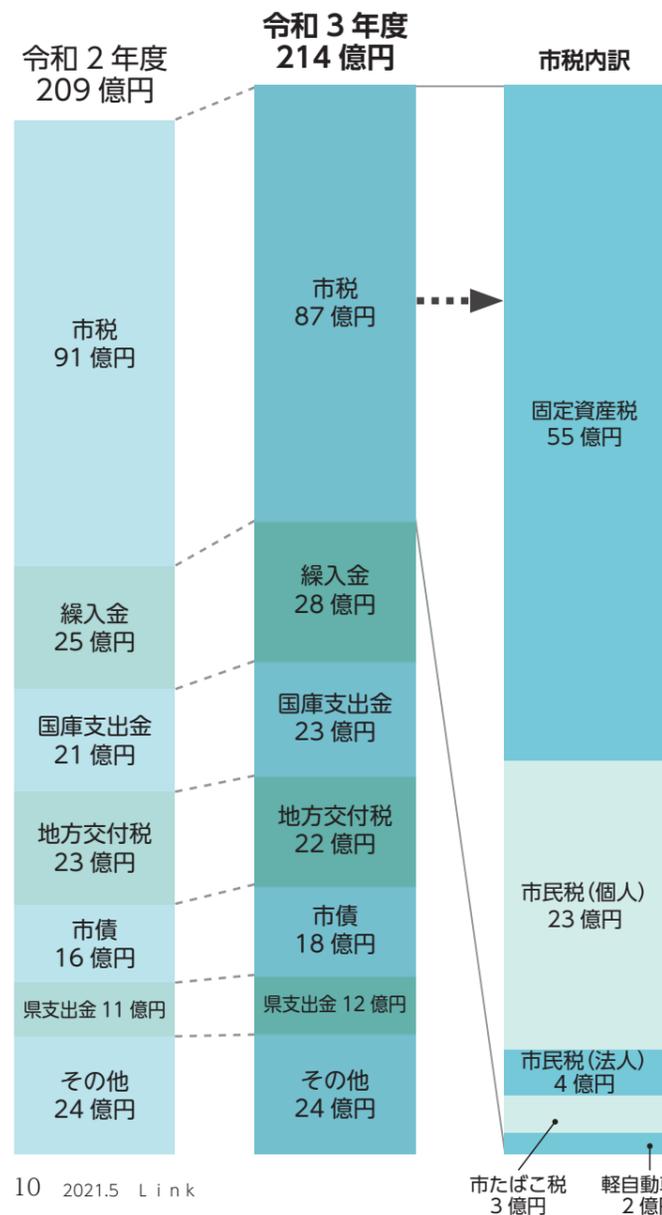


※自主財源…市民税、固定資産税など自主的に収入できる財源
 ※依存財源…地方交付税、市債、国庫・県支出金など国や県から配分される財源

歳出 214億円



※義務的経費…支出が義務付けられ任意に削減できない経費。人件費、扶助費、公債費の3つ
 ※投資的経費…支出の効果が資本形成に向けられ、施設など将来に残るものに支出される経費



市税(市民の皆さんから)

87億円(前年度比4億円減)を計上しました。固定資産税は前年度実績を基にほぼ同額を見込みました。市民税は法人市民税の税率改正による影響などから、4億円の減を見込みました。

繰入金(貯金や他会計から)

28億円(前年度比3億円増)を計上しました。合併特例債などの借入償還に対応するため、基金(貯金)から一般会計へ繰り入れます。

国庫支出金(国からの補助金など)

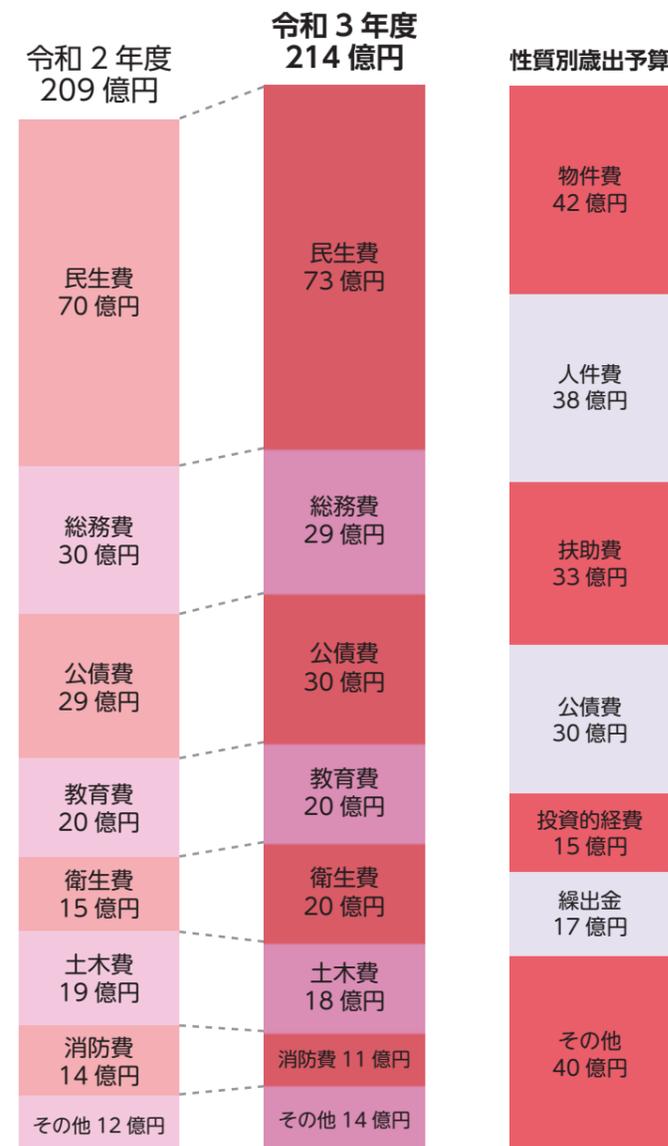
23億円(前年度比2億円増)を計上しました。保育所運営国庫負担金や生活保護費国庫負担金、新型コロナウイルスワクチン接種事業補助金などです。

地方交付税(国からの配分)

22億円(前年度比1億円減)を計上しました。前年度の税収増により財源不足分が減少するためです。

市債(借金)

18億円(前年度比2億円増)を計上しました。インフラ施設などの整備事業の財源として借入れます。



民生費(福祉に)

73億円(前年度比3億円増)を計上しました。保育所の運営や福祉施策の充実を図ります。

総務費(税務・戸籍などに)

29億円(前年度比1億円減)を計上しました。地方創生交付金事業や市議会議員選挙を実施します。

公債費(借りたお金の返済に)

30億円(前年度比1億円増)を計上しました。合併特例債などで借入れたお金の償還を行います。

教育費(学校教育やスポーツ振興などに)

20億円(前年度比増減なし)を計上しました。学校でのICT教育の推進や三重とこわか国体などを実施します。

衛生費(保健やごみ処理などに)

20億円(前年度比5億円増)を計上しました。新型コロナウイルスワクチン接種事業や藤原粗大ごみ場の整備などを進めます。

土木費(道路や公園などに)

18億円(前年度比1億円減)を計上しました。東海環状自動車道のインターチェンジへのアクセス道路の整備や通学路の自歩道整備などを進めます。

消防費(災害対策などに)

11億円(前年度比3億円減)を計上しました。消防車両の購入や防災施設の整備などを進めます。